

## 第 38 回葉山町子ども・子育て会議議事録

日時：令和 7 年 3 月 6 日（木）10 時～11 時

場所：葉山町役場 3 階協議会室 2

### 出席者【委員】：

寶川雅子会長、松尾真弓副会長、竹石素子委員、鈴木愛委員、白土はな委員、芹田克人委員、野北康子委員、北原淳子委員、山岡明美委員、中野徹委員（10 人）

※森田千穂委員、羽田志津枝委員、山浦彩子委員、安達禎崇委員、高木聡委員、守谷悦輝（6 人）は欠席

### 出席者【事務局】：

和嶋敦（福祉部長）、内藤丈裕（子ども育成課長）、小林拓人（子ども育成課係長）、沼尻康志（子ども育成課主事）

## 1 開会

### 2 あいさつ

事務局：定刻になりましたので、第 38 回葉山町子ども・子育て会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。はじめに議事録作成のため、会議の録音をさせていただきたいのですが、ご了承いただけますでしょうか。

（了承された）

事務局：本日、ご欠席連絡をいただいている方が 6 名いらっしゃいます。森田委員、羽田委員、山浦委員、安達委員、高木委員、守谷委員が欠席となっております。過半数の出席がございますので、定足数を満たしている事をご報告させていただきます。続いて事前に送付させていただきました資料の確認をさせていただきます。順番に読み上げますので確認をお願いいたします。

- ・本日の次第が 1 枚。
- ・委員名簿が 1 枚。
- ・資料 1 「第 37 回子ども子育て会議の意見について」が、A4 両面刷りで 3 ページ。
- ・資料 2 「葉山町子ども計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について」が、A4 片面刷りで 1 枚。
- ・資料 3 「葉山町子ども計画（案）」が、A4 両面刷りで 72 ページ。
- ・資料 4 「答申書（案）」については、当日差し替えとなり申し訳ございませんが、少し文面を修正した改訂版を配布させていただきましたので、恐れ入りますが、事前にお配りしたものと差し替えていただくようお願いいたします。A4 片面刷りで 1 枚となっております。
- ・参考資料「審議会について」が A4 片面刷りで 1 枚。こちらの参考資料につきましては、前回までにお配りしたものと同一内容なので、詳しいご説明は省略させていただきますが、委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りたいと思っていますけれども、要望・陳情の場ではございませんので、そこは何卒ご承知おきいただきたいと存じます。資料について不足がございましたら、事務局までお知らせいただきたいと思います。大丈夫でしょうか。

（委員による確認がなされた）

事務局：それでは、以後の進行を会長にお願いいたします。

### 3 議題

会 長：皆様改めまして、おはようございます。

今回は葉山町子ども子育て会議の 38 回目になります。それではまず会議の公開・非公開につきまして、委員の皆様にご確認いたします。事務局から会議の公開・非公開につきまして、説明をお願いいたします。

事務局：はい。葉山町では審議会等の会議は原則として公開することとなっております。今回 2 月 26 日水曜日から 3 月 5 日水曜日まで、町ホームページで本日の会議の傍聴希望を募りましたところ傍聴のご希望はございませんでした。この場をお借りしてご報告いたします。

会 長：はい、ありがとうございます。傍聴者はいないということですので、このまま始めていきたいと思います。それでは議事を始めます。

#### (1) 第 37 回子ども・子育て会議の意見について

会 長：議題 1「第 37 回子ども子育て会議の意見について」事務局から説明をお願いします。

事務局：はい。それでは「第 37 回子ども子育て会議の意見について」説明させていただきます。お手元の資料 1 をご覧ください。こちらは前回会議でいただいたご意見、会議後にいただいたご意見をまとめさせていただいたものになっております。上からご説明させていただきます。

1. 地域で活動している NPO とか地域のお母さんたちが運営している居場所事業とか、そこに目を向け、地域の資源として活用していくことなどを書いて欲しい。

2. 子育て家庭への支援の充実というところのどこかに、地域の子育て支援の団体とか NPO とかの連携とかネットワークづくりといったことを入れていただいて、地域のお母さんたちがより第 3 の居場所を利用しやすくなるような計画を検討いただきたい。

というご意見をいただいております。こちらにつきましては修正前、修正後と記載させていただいております。修正前のこのページ数の表記は、前回にお配りした計画案のページ数を示しております。修正後のページ数の表記につきましては、今回お配りした資料 3 の計画案に該当するページとなります。修正後の 54 ページ、前段のところは変えずに新たに「町、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、こどもとその家族を支える NPO 法人や地域の運営団体等との連携を強化し、孤立や潜在化している困難を抱える家庭や、複雑化した問題や多問題を抱える家庭に対し、つながりをつくり、その家庭にあった支援を実施していきます。」といった文言を加えさせていただきました。

3. 子どもの貧困対策と権利擁護のところで、法律的によく使われているのは承知しているが、貧困や生きづらさを抱えている本当に大変な子どもたちにとって「健やかな」とか「健全な」という言葉が、かえって苦しさになってしまうのではないか。

というご意見をいただきました。そこにつきまして確認したところ、こちらは子どもの貧困対策そのもののご説明というよりは、そこで実施する子ども医療の制度や児童手当のご説明といったところでの文言に使用しておりました。「健やかな」といった文言を削っても意味は通じる内容となっておりますので、ご意見いただきました通り、削らせていただきました。

た。

4. 55 ページの下、1つの事業所名が出ているが、こども食堂に食材を提供しているのはそこだけではなく、いくつかの中間支援組織があるので、一つの事業所を特出しするのはどうなのか。

というご意見をいただきました。もっともでありますので、こちらについては「フードバンク等からの提供食品」といった文言に変えさせていただいております。

5. ヤングケアラーは背景に様々な要因が含まれていますので、生活支援のところだけではなく、違うところになるのではないかと。

というご意見をいただきました。おっしゃる通り、ヤングケアラーは様々な背景が要因であり、貧困対策の中の生活支援や地域社会の理解の促進には収まらない問題だと認識しているところではございます。計画の文言上は、生活支援のところメインになるのかなというところで考えているところではございますので、位置付けとしてはこのままとさせていただきたいと思っておりますけれども、56 ページ、こどもの権利擁護の保障のところでの児童虐待の発生予防・早期発見・支援やこどもや若者を包括的かつ迅速・的確に支援する関係機関との連携、こどもや若者の意見の尊重と支援の充実にも含まれてくる問題だと考えております。

6. 58 ページの、「こどもや若者の自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押しする」という表現があるが、逆にこどもの自己責任を押しつけることになるのではないかと。社会全体で後押しするための支援ではなくて社会全体でそっと応援する環境づくりとか、もう少し表現が加わったらいいのでは。

7. 58 ページ、「社会の一員としてのその次の民主主義の担い手を育成するため」とありますが、私たちはこういうことをやっているわけではない。社会全体でこどもを育てるのは、社会のためにこどもを育てているのではなくて、こどもを真ん中に置いて、みんなで育てていこうということであり、それは民主主義の担い手を育てるためにやっているわけではない。

というご意見をいただきました。こちらに関しては、国の文章をそのまま引用したり、葉山町としての計画に落としきれていない部分が正直あるかと思っております。今期だけでなく、若者の意見を聴取したりして、中間見直しや次期計画の中で、しっかり落とし込んでいけるような計画にしていきたいと思っております。資料では修正前、修正後を載せていないのですが、今回このご意見をいただいたことで文言を若干ですが修正させていただいておりますので、紹介させていただきます。資料3の57 ページ、ご覧いただけますでしょうか。今回いただいたご意見どちらも国のこども大綱の文言をそのまま引用させていただいている形になりますが、57 ページ1 番上、「こどもや若者の意見の尊重と支援の充実」というところで、一段落目の4 行目途中から、「本町でも、こどもとともにという姿勢で、こどもや若者の自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押しするための環境づくりに努めます。」と記載させていただいております。こちら、前回お示しさせていただいた時には「後押しするための支援に努めます。」という言葉になっておりました。こちらを「環境づくりに努めます。」という言葉に変えさせていただいております。それと7. につきましては、同じく57 ページ、下の段「②こども・若者の社会参画・意見反映」というところの二段落目になります。「本町でも、こどもや若者の意見を聴いて施策に反映することやこどもや若者の社会参画を進めることによ

り、子どもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになることや、子どもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながり、ひいては民主主義の担い手の育成に資することから、本計画策定時に子ども・若者の意見を聴取しました。」という文言になっております。こちら、当初提案させていただいた計画では、「ひいては民主主義の担い手の育成に資する」というところの「ひいては」という言葉が抜けてございました。今回、こちら「ひいては」という言葉を加えさせていただきまして、「結果的に」民主主義の担い手の育成に資することになるということに変えさせていただいてございます。民主主義の担い手の育成に資するために行っているのではなく、こういった取り組み自体が結果的には民主主義の担い手の育成に資することにも繋がるというような意味合いに変えさせていただいてございます。

続きまして、資料1に戻ります。8. 不登校のことが出てこなかったように思うのですが、そこは管轄外という考えなのか。

こちらですが、不登校の方も含めた形で地域の居場所をとすることを考えていきたいというところがございます。不登校の方の居場所とか、不登校の方とかその他の方とかが相談しやすい場所を確保するとか、そういったアプローチが私たちのミッションになるのかなと思っております。もちろん学校との連携はさせていただいておりますが、学校で過ごす時間以外の場所でのアプローチ、施策について書いています。

9. 基本理念、前回の計画と同じだが、今回の計画は若者などが含まれているので、若者の人たちの部分を表現として入れたほうが、新たな計画の体制になっていくのでは。

というご意見いただきました。おっしゃることがもっともだと考え、修正をさせていただきました。こちらで考えさせていただいた内容が下の段、修正前・修正後と載せさせていただきました。修正後を申し上げますと、のびのび育て葉山の子という主題はそのままで、副題として「子ども・若者が笑顔にあふれ、地域で子育てを支えあうまち 葉山」と掲載させていただいております。

10. 親子関係形成支援という子育て家庭への支援ということで「八策」が挙げられているが、世の中にはたくさん子育て支援の方法、虐待防止のプログラムがあり、それぞれの施設でそれぞれやっているのでは、葉山町はこれです、と言われてしまうと少し疑問符が出てしまう。なぜこれを選んだのか。というところがございます。

これについても文言を修正させていただきまして、そちらの「そだちの八策講座」を紹介させていただいている部分、文言を変更させていただいて、「本町では、子ども家庭センターと子育て支援センターでこれに該当する事業を年2回程度実施しており、今後も継続していきます。」という形に変更させていただきました。

11. ひらがなの「こ」と漢字の「子」と混在しているので、根拠は説明した方がいい。

というご意見いただきました。こちらは計画の目次の裏に「「子ども」表記について」ということで特出ししてご説明を加えさせていただきました。最初に説明を加えることで、ご覧になる方が混乱なく見ていただけるかなと考えております。

12. 34 ページ等「アンケート調査から」と書いてあるが、どこのアンケート調査から分からないので、その出典を明確にしたらどうか。

というご意見をいただきました。こちらについてもそれぞれ、「子ども・子育てに関するアンケート調査から」等、修正させていただきました。会議後にいただいたご意見として、第2章で各事業の実績を示しており、第4章で各事業のこれからの展開について示していますが、実績も第4章にまとめてしまった方が見やすくなるのでは。というようなご意見をいただきました。そのご意見をいただきまして、第4章にまとめてみたところ、やはりこちらのほうが見やすくなるのではないかという形に考えましたので、まとめさせていただいて、第4章のほうにすべてまとめさせていただきました。こちら資料3で申し上げると26ページ以降ですね。こちらにすべて事業・実績を載せさせていただいたうえで今後の展開という形にまとめさせていただいてございます。こちら、いまご説明させていただきました内容につきましては、パブリックコメント前に修正させていただきました。宝川先生にもご覧いただいた後、皆様にメールで報告させていただき、ご了解いただいたといった流れになっております。議題1については以上でございます。

会長：はい、どうもありがとうございました。ただいま資料1の説明がございました。これは前回の会議で皆様から頂戴しましたご意見に対して修正等を加えたという話になっておりました。今の事務局からの説明で、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。資料3全体に対して色々と修正して下さったように感じるのですが。

委員：色々修正していただいてありがとうございました。こどもの健康対策のところ、教育の支援、生活の支援というのが出ているのですが、こどもの貧困対策のところ、人権の貧困とか関係性の貧困とかと言うのが、経済的な貧困とか教育や生活とか以外にも、その後の育ちに大きな影響を与えると言われてるので、少しどこか触れた方が良いのではないかなと思います。例えば、この教育の支援とかいう所の中であれば、経験とか関係性の支援に含むとか、少しそういうことが含まれた方が、厚みが出るのではないかなと思います。こどもの貧困対策が当初生活とか、経済的なところがクローズアップしていたのですが、実はそれよりももっと、経験の貧困とか、関係性の貧困とかっていうところに課題があるのではという話も聞くので、もっと補足した方がいいのかなと思ったんですけど。

会長：今のご意見は資料3の54ページをメインにお話くださっているということでよろしいでしょうか。

委員：はい。

会長：ありがとうございます。事務局からよろしいでしょうか。お願いいたします。

事務局：はい。確かにおっしゃる通りで、そういった部分の事柄もあるかと思うのですが、今後ここに限らず中間見直しの時とかに、必要に応じてこの計画自体の見直しをさせていただくこととなりますので、今回のこの計画についてはこの形で記載をさせていただきつつ、今後の中間見直しの時点には委員からいただきましたご意見等も勘案して反映をさせていただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

会長：はい。ありがとうございました。中間見直しの時にはもうちょっと具体的な内容になっていけるかなと思います。その他、ご意見ご質問等、もしございましたらどうぞ。

委員：もう一ついいですか。

事務局：はい。

委員：「子ども・子育てに関するアンケート調査」というところで、「葉山町の」とか、どこの

アンケート調査かっていうのを入れた方がいいのではないかと感じるのですが。

会 長：はい。事務局方、お願いいたします。

事務局：いまのお話は26ページあたりのことかと思うのですが、計画自体は葉山町の計画となりますし、どういった方を対象にアンケートを取ったか3ページにも記載していることなどから、葉山町とあえて記載しなくともよいかと考えてございます。今回、委員からご意見いただきましたので、最終的な見直し時に加えさせていただくことも可能かと思っておりますので検討させていただきます。ありがとうございます。

委 員：ありがとうございます。

会 長：はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委 員：同じく26ページ、ちょっとだけ気になったのですが、アンケートの結果のことなので遅いとは思いますが、この表の中の「父親はいない」というのが、なぜ「母親はいない」がないのかなというものが、気になっていたのですが伺ってもよろしいでしょうか。

会 長：はい。事務局からお願いできますか。

事務局：26ページの表について、少し見づらい表になってしまっていたようで申し訳ございませんが、横軸が父親の就労状況、縦軸が母親の就労状況、それをクロスさせていただいているような形になっておりますので、母親の就労状況の所の欄を見ていただくと、こちらに「母親はいない」という文言がございます。

会 長：はい、ありがとうございます。その他、また新しい計画になりますので、今後この計画が進むにつれて、もう少し具体的なご意見等が出てくるのかと思っておりますので、また何かお気づきのことがございましたら、教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。もし、今のところないようでしたら、次に移ってもよろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。それでは議題2に移りたいと思います。

## (2) パブリックコメント（意見募集）実施結果について

会 長：議題(2)の「パブリックコメント実施結果について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局：はい。「パブリックコメント意見募集実施結果について」説明をさせていただきます。パブリックコメントは令和6年12月16日(月)から令和7年1月14日(火)までの一か月間実施いたしました。町ホームページのほか、役場一階の情報コーナー、こども育成課窓口、図書館、福祉文化会館、各児童館、および青少年会館に冊子を置いて閲覧可能という状況にさせていただいておりました。町内に居住・勤務、または通学する人、および町内で事業を営む人、並びに施策等に利害関係があると認められる人からの意見を募集させていただきました。その結果、2名から2件のご意見を頂戴いたしました。その意見の内容と町の対応が資料2の通りとなっております。

資料2をご覧ください。こちら一つ目、いただいたご意見として、「福祉や家庭養育支援の側面が強く、子どもや若者が育つ都市計画への言及がほとんど見当たらない。子ども・若者は保護の対象ですが、自ら育っていく存在でもある。子ども・若者が育つ環境は、学校や家庭、保育園や児童館といった人為的な環境に限らない。海や山、竹林、川、一次産業といった、恵まれた葉山の自然環境に魅力を感じて、移住してくる子育て世帯も多い。葉山の魅力

は赤ちゃんからお年寄りまで、みんなで作っていくものと私は考える。ぜひ、まちづくり・都市計画の視点で、まちも、子ども若者も、そして大人も育ちあうような、「葉山の環境」とは何か、考え、話し、計画にその一步を刻んでいただきたい。」というご意見で、参考資料もご紹介もいただいております。

それに対する町の対応といたしまして、右側ですね。「葉山町こども計画は、教育・保育の提供体制の量の見込みや確保方策等を定める「子ども・子育て支援事業計画」と、「次世代育成支援行動計画」「子どもの貧困対策計画」「子ども・若者計画」の4つの計画を包含して作成しております。このような計画の性格上、いただいたご意見については、当該計画の中に盛り込んでいくことが難しいところございますが、町の海や緑など豊かな自然環境は葉山の「強み」ととらえており、「第五次葉山町総合計画」をはじめ、「葉山町都市計画マスタープラン」、「葉山町環境基本計画」など関連分野計画で広く取り組んでいるところではございます。本計画においてもこれらと整合、連携を図って参ります。」という対応とさせていただきます。

2番目のご意見は、「こどもの権利を尊重することが謳われていることは大変素晴らしいと感じます。一方で、その権利をなかなか大切にしてもらえずに、大人の都合でさまざまなことが決められていくという現実もあるかと思えます。そういう事態に陥りやすいということを私たち大人が自覚し合い、こどもの権利が侵されることのないよう進めていけると良いと思います。貧困家庭やヤングケアラー等については、家庭のリスクとして親の就労支援のみならず、福祉制度に繋がれない、制度から漏れてしまう課題や、メンタルヘルスや親が抱える課題にも寄り添う必要があり、大変デリケートではあると思いますが、安心して暮らせるようなまちづくりを整えていただければと思います。「発達に支援が必要なこども」と書かれてありますが、すべてのこどもたちは、さまざまな場面で大なり小なり支援が必要かと思えます。ぜひとも RTI モデルに基づき支援をしていただきたくよろしくお願いいたします。また、過剰適応等問題が表面化しないことにより、後々大きな困難さにつながることも鑑みて、文字通り「のびのび」こどもらしく成長できるようなまちの体制づくりを切に希望します。教育についても、発達特性や家庭環境によって学びの選択肢が限定されることのないよう、進めていただけますようお願いいたします。支援学校に通うこどもたちが、地域のこどもたちと共に成長できる場がないように感じます。「共に生きるかながわ」憲章にあるように単発のイベントではなく継続的、日常的に当たり前のシステムとなることを望んでいます。」といったご意見をいただきました。

それに対する町の対応といたしまして、「ご意見いただきました通り、こどもの権利を尊重することは我々もこども分野の施策を進めていくうえで最も重要なことと考えおります。また、貧困世帯やヤングケアラー等への支援も明文化し、より一層の取組みにつなげて参りたいと考えております。さらに、一人ひとりの特性に応じた支援に取り組んでいけるよう、地域で取り組まれている様々な組織や団体、県内の各組織、そして我々町役場の各部署での連携を深め、取り組んで参りたいと考えております。」という対応とさせていただきます。2件のご意見に対する町の対応は、事務局で案を作成させていただきました。また、事務局といたしましてはこの2件のご意見を受けて、計画そのものへの修正は必要ないのではないかと考えました。町の対応、計画修正の有無につきましては、先に寶川会長にご確認いただきま

して、その後に委員の皆様にもメールにてご報告させていただき、ご了解いただいた流れとなっております。なお、町の対応につきましては、その後町長までの決裁としたうえで、すでに公表させていただいているところがございます。以上でございます。

会 長：はい、どうもありがとうございました。只今、資料2の説明が事務局よりございました。こちらはパブリックコメントのご意見に対する町の対応ということでした。いまの事務局からの説明で、何かご意見あるいはご質問等ございますでしょうか。

委 員：1番にいただいたご意見というのは私もちょっと気になっていたところでして、町の対応の最後の所、計画が三つぐらいあると思うのですが、これは一般の方たちも混ざってやる計画なのでしょうか。それとも、町の中だけでやる計画なのか、お答えいただければと思います。

会 長：はい。事務局からお願いいたします。

事務局：はい。いまのお話は、第五次葉山町総合計画等のことと思います。第五次葉山町総合計画は新年度からスタートする計画になってございまして、これは町の最上位計画となっており、今後この計画期間内でどういった町の将来像を作っていくかというようなことが、全体像が示されているような計画となっております。また、都市計画マスタープランというのは町の中の土地利用ですとか、そういったものをどういう風な形にしていくのかというようなことが記載されているような形になってございます。環境基本計画についても、今後の町の環境をどういう方向へ持っていくかというようなことが書いてございますので、当然これはそれぞれの計画、町民の皆さんと一緒にやっていくというような形の計画でございます。その辺り、ご心配いただいております。

会 長：はい、ありがとうございました。その他、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。特にならなければ、次の議題に移りたいと思います。

### 議題（3）葉山町こども計画（案）について

会 長：葉山町こども計画（案）につきまして、事務局からお願いいたします。

事務局：はい。葉山町こども計画（案）について説明をさせていただきます。お手元の資料3をご用意ください。まず、議題2で申し上げた通り、パブリックコメントで2件、貴重なご意見をいただきましたけれども、計画内容そのものを大きく変えるようなものではないということになっておりますので、計画案自体はそれほど変わってはおりません。議題1でもご報告させていただいた通り、前回の会議からパブコメまでの間に変更を行っておりますが、それ以降は大きな変更は行っておりません。パブコメ後は、レイアウトや文言修正等の軽微な変更を行うとともに、第5章の後に資料編を加え、資料3の通りの案とさせていただきます。

資料編につきましては、60ページをご覧ください。まず、一つとして、「子ども・子育てに関するアンケート調査」結果の主な内容を記載させていただきました。こちらは単純集計の結果報告書につきましては、葉山町ホームページ内で公開しておりますので、ここでは省かせていただいております。主にそこでは見ることのできないクロス集計の結果内容などをこちらに記載させていただいた形になってございます。こちらが60ページから64ページまでとなっております。

続いて、65 ページですが、葉山町こども計画策定経過を記載させていただいております。  
続いて、66 ページ、葉山町子ども・子育て会議条例の最新版を載せさせていただいております。

そして、68 ページ、葉山町子ども・子育て会議委員の名簿ということで、皆様のお名前です。直近の令和4年4月1日～令和7年3月31日までの委嘱期間、該当されていた方すべて載せさせていただいております。

69 ページからは用語集ということになってございます。こちら建て付けとしては、前回、第二期の子ども・子育て支援事業計画と同じようなつくりになっております。用語集については、今回の計画案の中で出てくる文言を中心に記載させていただいているような形になっております。

以上、こちらを葉山町こども計画案とし、この会議で内容を確定させていただきたいと思っております。この会議終了後、寶川会長から町長へ資料4にございます、今回当日差し替えをさせていただきました資料4の答申書と共にお渡しする予定となっております。以上です。

会長：はい、どうもありがとうございました。ただいま事務局から、資料3・資料4につきまして、説明がございました。資料3は前回の皆様のご意見、そしてパブリックコメントを反映させていただいて、新しく作っていくのがいいのではないかというお話でした。ただいまのご説明で、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。特に事務局から60ページ以降の資料編を工夫してくださったという説明がございましたが、それも踏まえて、あるようでしたら頂戴できればと思っております。よろしいでしょうか。

委員：アンケートの中の60ページの平日の定期的な教育・保育事業の利用からってところの①年齢別に見た平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」割合っていうタイトルがあって、年度別が出てるんですけど、これはタイトルと合わない気が。年齢別って書いてあって、ここが年度別になっていて、それから2023年度が3%とグッと減っていて。タイトルとこのグラフが合わないような気がしたのですが、教えていただけるとありがたいです。

会長：はい、ありがとうございます。60ページですね。事務局からお願いいたします。

事務局：いまおっしゃられたところ、(1)の①のところですが、ここの年度が書かれているところにつきましては、その年度に生まれた方を示しているのですが、そこが見づらい形になっていました。ですので、直せるようであれば何歳の方とか、23年度生まれとか、そういった形に直させていただければと思いますので、失礼いたしました。ありがとうございます。

会長：はい。ありがとうございます。私からもよろしいですか。同じ表ですが、60ページ①のグラフ。この年度の数字の大きさ、2023、2022、2021から2020になるとちょっと数字が違うように見えてしまうのですが、フォントか何かの違いですか。

事務局：(n=)の数字が2021年度から2桁になってますので、この辺りのところの調整をして、表記自体を合わせるような形にさせていただこうかなと思います。よろしく願いいたします。

会長：はい、ありがとうございます。恐らく、2023、2022、2021は年度の後、一つスペースを空けると見やすいかな、と提案させていただきます。はい、ありがとうございます。その他、何かご意見等ございましたら。

委員：63ページの(4)の子どもの貧困についての、この回答についてはどういったことを表

しているものなのかっていうのが、ちょっと自分が理解できていなくて。

会 長：はい、いま 63 ページですね。(4) の貧困の①のグラフについて、こちら事務局からご説明お願いできますでしょうか。

事務局：こちらの元々のアンケート内容が、この1年の間でこどもにさせてあげられなかったことはありますか、というような質問内容です。塾に通わせてあげることができなかったとか、誕生日をお祝いしてあげることができなかったとか、旅行に連れて行ってあげることができなかったとか、そういった回答項目がいくつかある中で、該当するものすべてチェックしてください。というようなアンケート内容となっております。その回答結果として1つチェックをつけた方、2つチェックをつけた方、3つ以上チェックをつけた方の割合を記載させていただいていた表となっております。ここについては、質問内容についても載せた方がやはり見やすいのかなというところがございますので、こちら修正させていただければと思います。よろしく願いいたします。

会 長：はい、ありがとうございます。その他ご質問・ご意見等ございますでしょうか。

委 員：52 ページの地域におけるこどもの安全・安心な居場所づくりのところ、この児童館と青少年会館のことが書かれているのですが、地域におけるこどもの安全・安心な居場所づくりってところで、地域のNPOとか、そういった所が運営する居場所ってというのは含まれないのでしょうか。そこに行っているこどもたちもすごく多いと思うので。いかがですか。

会 長：はい。事務局からお願いいたします。

事務局：はい。丸の一個目については、主に町立の児童館ですとか青少年会館といった形で記載をさせていただいています。丸の二番目で、「こどもの安全・安心な居場所の確保が課題となっていることから、多様な体験活動や人との交流ができる場について検討を行います」と記載をさせていただいています。また、丸の三つ目の「地域の特性やニーズに合った、より効果的なモデルを構築するための検討」をしていくと記載をさせていただいています。地域の皆さん方が独自にやられているような活動は、こちら丸の二番目や三番目のところで対応させていただくような形になってございます。

会 長：はい、ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

委 員：これを全部変えろとかそういう話ではないですが、常々こどもの貧困、それから少子化ってことが本当に深刻な問題になっています。子育ての広場などを見てみると、ほんとは第2子が欲しいけど保育園に入園できても保育料が高いから、それだったら働かない方がいいかなと悩まれているという話を聞いたりします。高校の無償化とかはいよいよ進むわけですから、高校に行く前の、まず産むことができる少子化対策をできないのかなと最近本当に思います。例えば葉山の0、1、2歳の保育料が無料になったら、とか考えます。地方では住んだら100万円あげるとか、こどもが生まれたら100万円あげるという所もあります。そうやって取り組んでいる所もあるんだと思うと、羨ましいなって思います。第2子なんて無理だって最初から皆さんおっしゃるんですよね。それってすごく残念なことなので、もっとなんか色んなやり方があるにしろ、本当に必要だって思う方たちの声はそういう所にもあるのではと思います。計画に経済的支援ってということが書いてはいますが、まさにこどもって言うよりも大人、世帯に対する経済的な支援があれば少子化が少しでも良くなるのではと。こ

これは、支援の一つの在り方だと思いますが、それだけ言っておきたいなと思ひまして。

会 長：はい、ありがとうございます。事務局からお願いいたします。

事務局：はい、ありがとうございます。0、1、2歳の保育料に関しては、確かにそういったご意見もあるかと思ひます。町の現状としては、このところ保育士の処遇改善や物価の急上昇で公定価格の見直しなどが頻繁にあり、委託料自体は高くなっているような状況がある中で、保育料に関してはずっと値上げをせずに据え置きをさせていただいて努力してきたところでございます。県内の状況を見ますと、葉山町は安い方から数えて4番目くらいのところにいるような状況です。いま委員からありましたご意見については、私ども受け止めさせていただきまして、今後より良い子育て環境づくりの一助となるような形で、そういった経済的な支援をもう少し拡充することができないかどうか、今後検討を重ねていきたいなと思ひます。どうもありがとうございます。

会 長：はい、ありがとうございます。その他、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

委 員：61ページの①と②の、「概ね希望通り」という、概ねの漢字がたぶん常用漢字じゃないので、ひらがなで書いた方がいいかもしれないです。いかがでしょうか。

会 長：はい、事務局お願いいたします。

事務局：はい、ありがとうございます。ちょっと確認をさせていただいて対応可能であれば修正させていただきます。ありがとうございます。

会 長：ありがとうございます。そろそろお時間もあるのですが、その他ご意見等ございますでしょうか。特にないようでしたら次に進めさせていただきます。それでは議題の4ですが、本日ご出席の皆様から何かあるようでしたら、いかがでしょうか。

委 員：次回の計画を作成する段階でぜひご検討いただきたいなと思ひ話ですが、小学生の娘がいま不登校になってしまつて、発達障害の診断を受けたところなんです。それで、学校になんとか毎日朝連れて行つて、朝の漢字テストだけを受けて帰つてくるつていうことを繰り返しながら、少しでも学校に行けるようにと取り組んでいる最中なんですけど、学校の先生方とお話すると、どうもやっぱり発達障害を持ったお子さん、発達にちょっと懸念がある子つていうのはどんどん増えていると。それで、そういう子が学校以外のフリースクールという選択肢もある中で、小学校で過ごそうとすると先生の量が圧倒的に足りなという話を受けるんです。担任の数を増やす、学級の人数を例えばいまの30~40人から26人にする、それだけでもかなり発達特性のある子にとっては助かるという話を散々聞かされます。もし可能であれば次回この会議がある時、僕は委員ではなくなると思ひのですが、先生方のご意見、合わせて幼稚園・保育園の先生方のご意見というものも取り入れた形の計画を策定することができれば、こどもたちの安心・安全な成長を見守るといううえで、さらにより良い意見が集まると思ひますので、その点よろしくお願いいたします。

会 長：はい、ありがとうございます。事務局からお願いします。

事務局：はい、ありがとうございます。学校の先生たちが足りないという話、最近ニュースを見つていますと、先生になろうという学生さんが少なくなつてきているという話なんかもございまして。これはもう日本の全国的な問題なのかなとも思ひます。また、いま委員のご家庭の状況をお話いただきまして、発達障害のお子さん、確かに色々なところでそれぞれの困難な場面があるかと思ひます。そういったお子さんたち、一人ひとりを大切に、将来の葉山町をしょ

って立つ皆さんですから、そういった方たちの支援はしっかりさせていただきたいと思えます。また、学校の先生、それから保育園・幼稚園の先生方のお話も、計画の中間見直しがこれから三年後にあるような形になりますが、その時期にお話が伺えるような機会があれば、作っていきたいと考えます。貴重なご意見ありがとうございます。

会長：はい、ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。

委員：保育園とか、巡回相談というのが毎年一回春から秋ごろにあるのですが、そこで聞いた話で、悩みに悩んだ親御さんが心理相談した結果「様子を見ましょう」とか「大丈夫」と言われて帰ってきたと。言われた人は割と専門家の人だったりすることもあって、納得いかないみたいな話があって。私たちもおすすめたこともあるし、せっかく町のシステムとしてある療育を受けられないというのはどういうことか。その相談を受けた一人の人が判断して決めるってというのはちょっといかなものかと思っていて。短期でもそういう見極めができる時には「様子を見ましょう」でもいいのでしょうか、入口で「大丈夫です」って、何が大丈夫かよくわかんないけど言われたみたい。町として実施する発達支援をどういう形で取り組んでいくかというのは、私たちも施設をやっている人間としても知りたいし、他でもすごく取り組みされているところもあると思うので、そういう事を計画に載せるというところまではちょっとわかりませんが、やっていきたいし、やりたいとも思います。保育園としても独自に取り組んではいます。ですから、もっと支援していききたいと思っています。

会長：はい、ありがとうございます。事務局からよろしいですか。ありますか。はい、お願いします。

事務局：発達支援の部分については、毎年一回になってしまうのですが、それぞれの保育園・幼稚園を巡回させていただいて、保護者から相談のあったお子さんを拝見させていただいて、またそのお子さんに対してのフィードバックをさせていただくような形になってございます。その中で、それぞれのケースによって、たんぽぽ教室をご紹介したりだとか、専門的な療育の方のご案内をしたりだとか、そういったような対応をさせていただいているような状況にあります。また、委員からそういったお話がございましたので、今後発達支援に関しての内容も検討させていただき、小学校に進学することになりますので、教育委員会とも連携を図りつつ、一人ひとりに即した対応をさせていただければと考えてございます。どうもありがとうございます。

会長：はい、ありがとうございます。

委員：すみません、あの三年後の見直しの時に一つ盛り込んでいただきたいのが、いじめのことです。いまいじめ認知件数も増えていることがいっていいご意見もあるのですが、私はピンクシャツデーキャンペーンとかずっと取り組んでいまして、こどもの自死が今年も527人。こんなにたくさんの子供が自死をする国はないって言われています。そういったことにこの計画はまったく触れられていなくて、こどもの人権とか、一人ひとりの多様性を認めるとかっていう、何か一つ、葉山らしく、いじめとか虐待とか、そういったことを、こどものSOSを受け止めやすくなるような、そういう取り組み、そういうようなものを計画の中に入れて欲しい。こんなに町の人たちが温かくて、色んなこどもの意見を聞いてくれる地域ってないと思いますので、困ったときに助けてってこどもが言いやすいような環境づくりみたいなことを見直しの時に少し入れていただけたら、ありがたいかなと思っています。

会 長：はい、ありがとうございます。事務局からどうぞ。

事務局：はい、ありがとうございます。いじめの問題、本当に最近、テレビのニュースなどでもよく見ます。お子さんの置かれている状況っていうのが複雑化しているのかなと。また、最近はSNSとかそういったもので、大人が分からないところでいじめが進んでいるという話も聞いてございます。私たちとしても、そういったことを何か対処ができないか、また困ったときにはすぐ相談していいんだよ、近くの大人がいるんだよっていう事をしっかりと打ち出していきたいと思いますので、その中間見直しの時にそういった事柄なんかも教育委員会と連携をとりつつ盛り込むことができればと考えてございます。どうも、ありがとうございます。

会 長：ありがとうございました。お時間の関係もあります、そろそろよろしいでしょうか。葉山子ども子育て会議というのは、色々な立場の方が参加して下さって、そしてそれぞれの立場でのご意見が頂戴できるというのが、この会議の良いところでもありますので、ぜひですね今後も忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、この中間見直しに向けて、葉山らしさというものがこの計画書に盛り込まれるとより良いのかなと思っております。どうも、ありがとうございます。そうしましたら、これで予定しておりました議題は終了いたしました。委員の皆様のご協力により、予定通り終了することができたこと、御礼申し上げます。ここで進行を事務局に戻します。

事務局：会長、ありがとうございました。今回の計画案につきましては、いただいたご意見を参考にさせていただきまして、修正できるところは修正させていただきたいと思っております。ただ時間がない中になってしまいますので申し訳ございませんが、修正結果・内容につきましては会長と事務局のほうに一任していただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局：修正した計画案と答申書につきましては、先ほどご説明させていただきました通り、今後会長の方から町長の方へお渡しする予定となっております。その後、町長は答申の内容を確認、調整を行いまして葉山町こども計画の正式な策定となります。3月末までに印刷が完了する予定としておりますので、納品され次第、委員の皆様には郵送でお送りさせていただきたいと思っております。委員の皆様にはこれまでお忙しい中、会議にご参加いただき活発なご意見を賜りましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度子ども・子育て会議は終了となります。次回の開催は来年度になりますけれども、今回の委員の皆様は今年度末で委嘱期間が一旦満了ということになります。来年度の委員編成につきましては、改めて検討させていただく予定となっております。来年度は夏から秋頃に一度開催できたらという形で準備を進めて参ります。今回の会議につきましては以上となります。本日はありがとうございました。

全 員：ありがとうございました。

以 上